

つなぐれ ひろぐれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなひろ通信 vol. 1



東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 (企画実施担当・つなぐれひろぐれちいきの輪 inTOKYO WT)

◎このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム (ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

6月25日(金)事例報告会を開催しました!!



「つなぐれ ひろぐれ ちいきの輪 in TOKYO」は、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざして、都内の高齢者福祉施設・事業所ならびに社会福祉法人が中心に取り組むキャンペーンです。令和3年6月25日(金)に「事例報告会~コロナ禍における地域に向けた取りくみの工夫~」を実施し、約60名が参加しました。文京学院大学教授の中島修先生より「コロナ禍における地域とのつながり」と題した講演をいただき、コロナ禍の社会情勢を様々なデータから把握したうえで、人が人を支える大切さを再確認しました。続いて2つの施設より、感染対策や実施方法の見直しで従前からの活動を継続したもの、新たな取り組みを始めたものなど、それぞれ複数事例をご報告いただきました。60名を超える参加者からは、「現状に合った取り組みを学べた」「大きな視点に気づき力をもらった」「リスクが気になり動き出せていなかったがアイデアをもらった」「参考になるので今後もこのような会を継続してほしい」といった声が寄せられました。今後も皆さんが地域に寄り添う活動を進めていくためのヒントを共有できる取り組みを続けていきます。皆さんのご参加をお待ちしています。

事例報告会の実際の様子は、【令和3年8月2日(月)~31日(火)】にて動画配信をしていますので是非ご覧ください

トピックス

アンケートに寄せられた質問のご回答

アンケートに寄せられた質問に、事例報告者の大森老人ホーム 福原 見奈様にご回答くださりました。感染対策等については、動画内でも説明がありますので配信した動画を是非、ご覧ください。



Q.1	養護老人ホームでは外出制限や活動をどれくらい制限しているか
A.1	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中のみ飲食をしない約束で外出許可をしている。 ・買い物は週1回までとお願いをしている。 ・講師が来所する活動は中止にしている、介護予防の体操(100 オバンザイ体操)のみ再開している。感染対策をしっかりしていて、具体的に感染対策について話があったことを踏まえて、活動再開に至った。 ・利用者のみで絵画、囲碁を行っている。
Q.2	実施しているものに対して、どのような感染対策をしているか
A.2	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子の間隔を1m以上開ける。 ・水分補給時は職員がコップの配布と回収を行う。 ・クーラーをつけ、窓を少し開けている。 ・囲碁は、板を置く部分が開いているタイプのアクリル板を使用している。

アンケートにご回答いただき、ありがとうございます。コロナ禍において安全管理を徹底して、取り組みを行うことは困難があるかと思えます。このような中ですが、オンラインを使いながら「ふれあえないけどつながれる」「笑顔を交わす」そこからスタートする機会を作っていきたいと思えます。



今後の取組予定

今後は、職種ごとに情報交換会を実施します。改めてご案内します。

送
信
元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当
TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail : kourei@tcs.w.tvac.or.jp

